

教師の発問・支援・指導	児童の反応・活動
<p>新システムレジが導入されたことによって、情報を本部に集めて分析をしたり、より良い店づくりをしたりしてお客さんのニーズに応じてきたという勉強をしてきました。今までの学習のまとめをしましょう。学習のめあてを書きましょう。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>㊦ 情報通信技術を活用することで、わたしたちのくらしや販売業はどのように変わってきているのだろうか。</p> </div>	
<p>みんなで言ってみましょう。</p> <p>関係図にまとめていきたいと思います。 何から勉強しはじめましたか。</p> <p>どこと、つながっていましたか。</p> <p>本部のコンピューターとつながっていました。</p> <p>ということは本部とも</p> <p>この新システムレジはいつからですか。</p> <p>前にもレジはありましたね。</p>	<p>情報通信技術を活用することで、わたしたちのくらしや販売業はどのように変わってきているのだろうか。</p> <p>マルナカの新システムレジ。</p> <p>本部のコンピューター。</p> <p>店の新システムレジからは、売れ行き情報と仕入れ情報です。 売り方の提案のアドバイス。 値段の設定です。 よりよい仕入れ量です。 商品の提案。 イオングループです。</p> <p>つながっています。</p> <p>本部のコンピューターは、新システムレジから情報を受け取って、物流センターに頼んで物を持って行ってもらっています。そこから商品が届いています。</p> <p>今年の9月からです。</p> <p>9月から新しくなった。</p>

レジが新しくなって、これまでのレジと比べて  
お店はどうになりましたか。

何が混むことがなくなりましたか。

そのおかげで

足りないものはありますか。  
大量の情報を渡しているのは誰でしょう。  
相談してみましよう。

ここには、どのようなやりとりがありますか。

完成ですね。  
大量の情報がやりとりされることで、情報通信  
技術が活用されることで販売業はどうになりました  
か。

どんなことがよくなりましたか。

今日、考えてほしいことがあります。どの情報  
や情報通信技術の活用が私たちの暮らしを便利に  
しているのでしょうか。

ネームプレートを貼りましよう。  
自分の選んだところの理由を書きましよう。  
その理由を教えてください。

便利になってスムーズになった。  
混むことがなくなった。

レジ待ちです。

利益が上がった。  
お客さんにサービスができるようになった。

私たちです。

店の新システムレジから私たちへはクーポン  
券、本部から私たちへはクーポン券や値引き情報  
が届けられています。

「店長さんの話」を見てください。カードの情  
報でお客様の好みや変化をいち早くとらえ、役  
立てられています。

発展してきました。

商品の売り切れがなくなって、お客さんが商品  
を買えるようになりました。

私たちも便利になってきた。

僕が選んだのは店の新システムレジと本部コン  
ピューターとのつながりです。売れ行きや仕入れ  
情報が本部に送られると、本部から値段の設定や

売り方などのアドバイスをして店をよりよくしてくれているから、このつながりが大切だと思いました。

店の新システムレジと本部のコンピューターを選びました。店の自動発注を使えば商品の売り切れや売れ残りを防ぐことができ、お客さんの信頼を得られることができるので選びました。

前までは HHT の手間がかかっていたけれど、今のレジは残り 3 個になれば自動で売れ行き情報・仕入れ情報が本部まで送られるので、お客さんの信頼も上がり店の利益も上がるからです。

私も店の新システムと本部のつながりにしました。お客さんが買い物をする事で本部に仕入れ情報や売れ行き情報が送られ、その情報を分析してアドバイスをしているからです。また、そのアドバイスがないと季節に合った商品を置けず、お客さんからの信頼をなくしてしまうと思ったからです。ほかにもちょうどいい値段を決めてくれているからです。

他の意見を聞いてみましょう。

私は、みんなと違って私たちと店の新システムレジを選びました。理由は 2 つあり、1 つ目は、お客さんの好みや買い物の変化が書いてあって商品の品ぞろえに役立てられていると思ったからです。2 つ目は、商品の売り切れや売れ残りも防ぐことができ、賞味期限が切れることもなくなり、人気のない商品を多く売ってもゴミが増え、環境問題に悪いことにつながると思ったからです。

新システムレジと本部のコンピューターのつながりにしました。店の新システムレジが本部に自動発注することで商品の売り切れがなく、いつその店に行っても商品がそろっているからです。また、本部がアドバイスをすることで、売る商品や置く場所を変えて、私たちは季節商品がすぐに買えるからです。

寒くなると

その寒い時に合うおなべなどを見やすいところにおいて、いっぱい買ってもらえるようにしてい

どこから

る。

本部からです。

私たちと本部のコンピューターにしました。消費者がポイントカードやクレジットカードを使用して支払いをすると、その場でクーポン券を発券されたり、本部から値引き情報やクーポン券がアプリに送られたりするため、僕たちは値引き券を使い安く買ったり、僕たちの情報を店に役立ててもらったりすることができるから選びました。

店の新システムレジと本部のコンピューターのつながりにしました。売れ行き情報や仕入れ情報が本部へ送られると自動発注され、売れ残りや賞味期限切れなどの無駄がなくなるから、私たちのくらしは便利になる。

店の新システムレジと本部のコンピューターとのつながりにしました。つながっていないと本部から店へのアドバイスができない。お客さんからの信頼もなくなるので店の利益も上がらないし、お客さんも来ないからです。

特に、どの部分の情報通信技術が活用されることで私たちのくらしは便利になってきている。

その間の情報通信技術の活用があることで

私たちのくらしが便利になってきている。

店の利益が上がることで、まず販売業が発展してきました。そのことで

便利になってきたことを国民生活が向上したというふうにまとめていきたいと思います。

今日のまとめをします。

店と本部。

私たち

店の利益が上がる。

生活もくらしも便利になった。

㊦ 大量の情報や情報通信技術の活用は、販売業を発展させわたしたちのくらしも便利になってきている。

振り返りをしましょう。

振り返りを発表してください。

みんなの意見を聞いてどうでしたか。

また、未来と課題について調べていきましょう。

情報通信技術にはたくさんのメリットがあることがわかりました。たとえば、自動発注することによって、商品の売り切れや売れ残り賞味期限を防ぐことができるので環境にもいいし、お客さんの気持ちも大切にしているとてもメリットがあると思いました。

情報通信技術を活用しているスーパーを関係図にしてみると、店での工夫やお客さんへのサービスが工夫していると思いました。

私たちと店の新システムレジの関係を選んでいましたが、みんなの意見を聞いて考えが変わりました。店の新システムレジと本部のコンピューターのつながりになりました。

今日の学習でいいと思ったことは、情報通信技術を活用するとくらしが便利になってきているということがわかったことです。また、本部からお客さんに値引き情報を送っているということもわかりました。僕は、新しいレジになってお客さんがたくさん来るようになったと思いました。

販売業はさまざまな未来へ発展しているということです。販売業が発展することで、私たちのくらしは便利になってきているということがわかりました。マルナカで働いている人たちは、私たちからの信頼を得るために様々な工夫や努力をしてくれていてすごいと思いました。これからは情報通信技術の未来と課題について調べていきたいです。

--	--